

該当する欄に○印を記入してください。

3	法定	自主
	○	

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 7 年 6 月 25 日

横須賀市長 殿

提出者

住 所 神奈川県横浜市中区太田町1-15
関内東亜ビル

氏 名 東亜建設工業株式会社横浜支店
執行役員支店長 堀越 研司
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)
電話番号

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事 業 場 の 名 称	東亜建設工業株式会社 横浜支店	自 主 管 理 事 業 登 録 番 号 (2254)
事 業 場 の 所 在 地	神奈川県横浜市中区太田町1-15 関内東亜ビル	TEL(連絡先): 045-664-3905

当該事業場に関する事項

① 事業の種類	D-建設業 (具体的には) 0		
※ 前年度実績を記入、医療機関は前年度末時点の病床数を記入。	製造業	製造品出荷額	0 百万円／年
	建設業	エリア内元請完成工事高	3,318 百万円／年
	医療機関	病床数	0 床
	その他の業種	売上高	0 百万円／年
	(上記項目に該当しない場合にはこちらに記載をしてください。)		
③ 従業員数	0		

産業廃棄物処理計画における計画期間	令和 6 年 4 月 1 日 ~ 令和 7 年 3 月 31 日(1 年間)
-------------------	---

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	2,771.3 t	全処理委託量	2,771.3 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への処理委託量	0 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量	2,750.7 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t
※ 事務処理欄			

備考

- 1 当該年度(令和7年度)の6月30日までに提出してください。
- 2 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入してください。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類(中分類)の区分を記入してください。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入してください。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、前年度(令和6年度)提出の産業廃棄物処理計画に記載した目標量を記入してください。
- 4 第2面(様式3-2)には、前年度(令和6年度)の産業廃棄物処理実績に関して①～⑯の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入してください。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分した量又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面(様式3-2)の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入してください。
- 6 第1面の※欄には、何も記入しないでください。

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

3-2	法定	自主
○		

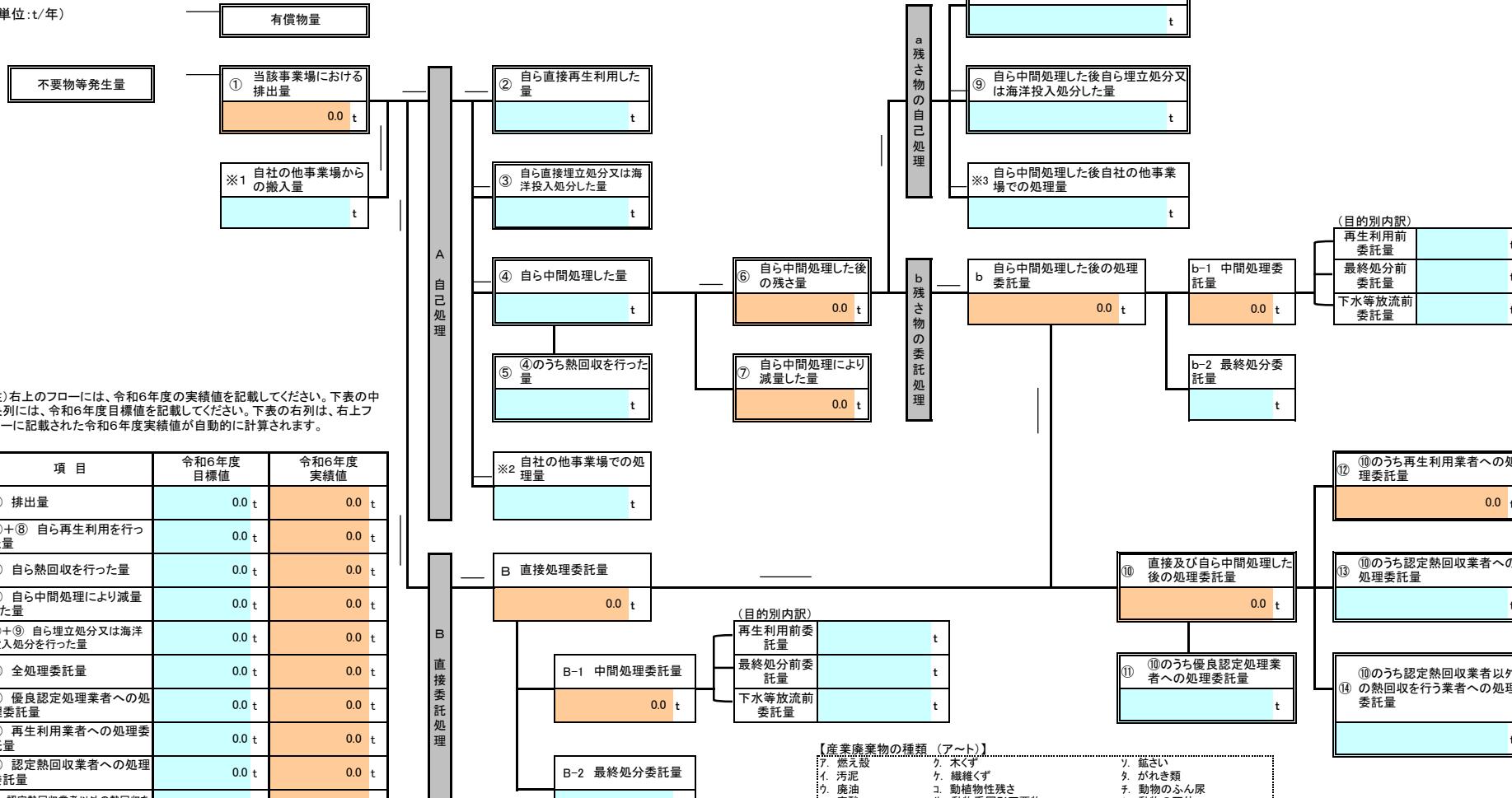
事業場名称 : 東亜建設工業株式会社 横浜支店

別紙処理フロー

令和6年度に発生した産業廃棄物ごとの量と処理計画の実施結果

フローに記載した産業廃棄物の種類	ア. 燃え殻
※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。	

(単位:t/年)



(第2面)

注)右上のフローには、令和6年度の実績値を記載してください。下表の中央列には、令和6年度目標値を記載してください。下表の右列は、右上フローに記載された令和6年度実績値が自動的に計算されます。

項目	令和6年度目標値	令和6年度実績値
① 排出量	0.0 t	0.0 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.0 t	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t	0.0 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t	0.0 t
⑩ 全処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

3-2	法定	自主
○		

事業場名称 : 東亜建設工業株式会社 横浜支店

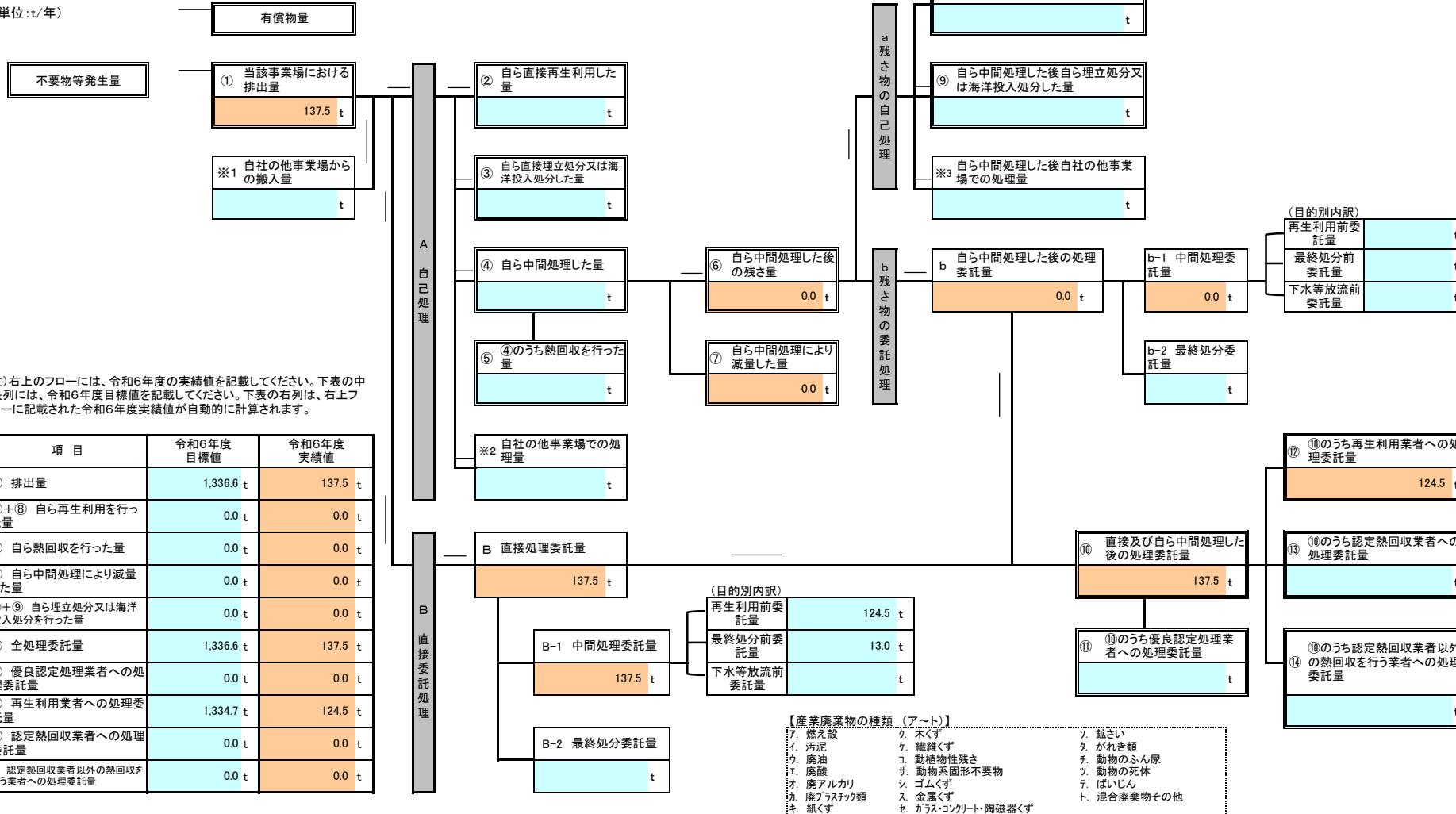
別紙処理フロー

令和6年度に発生した産業廃棄物ごとの量と処理計画の実施結果

フローに記載した産業廃棄物の種類	イ. 汚泥
------------------	-------

※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位:t/年)



産業廃棄物処理計画実施状況報告書

3-2	法定	自主
○		

事業場名称 : 東亜建設工業株式会社 横浜支店

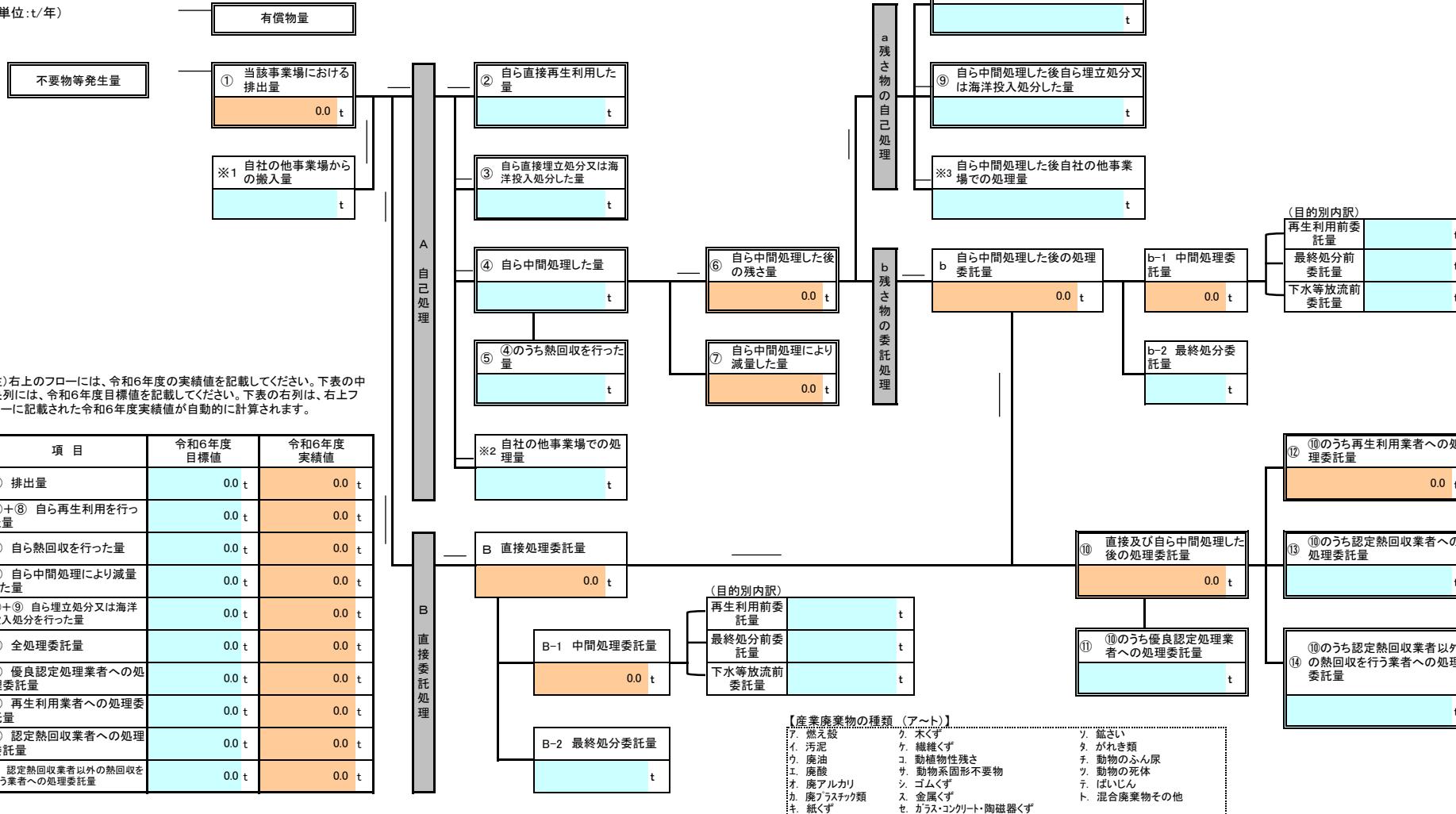
別紙処理フロー

令和6年度に発生した産業廃棄物ごとの量と処理計画の実施結果

フローに記載した産業廃棄物の種類	ウ. 廃油
------------------	-------

※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位:t/年)



産業廃棄物処理計画実施状況報告書

3-2	法定	自主
○		

事業場名称 : 東亜建設工業株式会社 横浜支店

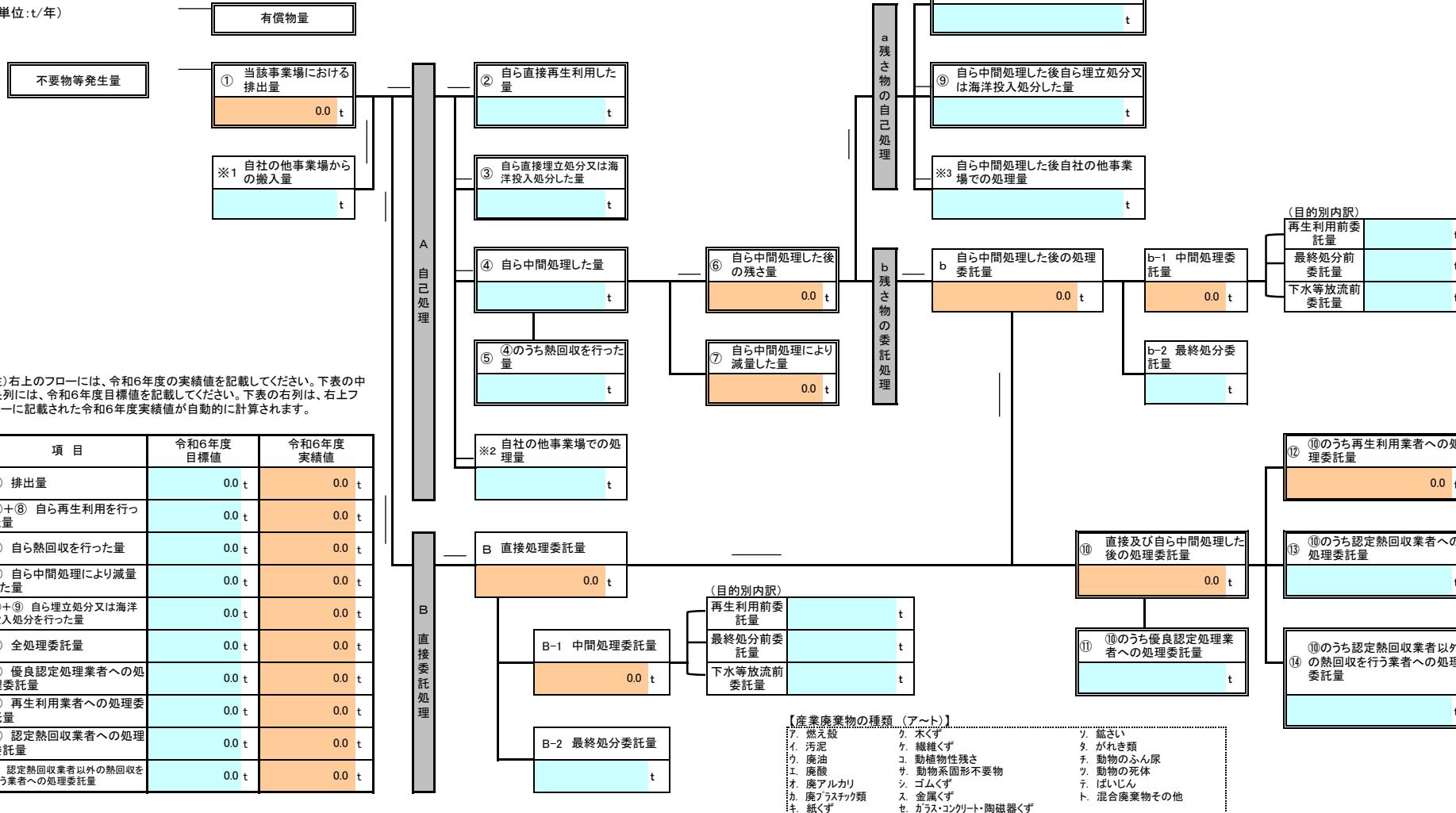
別紙処理フロー

令和6年度に発生した産業廃棄物ごとの量と処理計画の実施結果

フローに記載した産業廃棄物の種類	工. 廃酸
------------------	-------

※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位:t/年)



産業廃棄物処理計画実施状況報告書

3-2	法定	自主
○		

事業場名称 : 東亜建設工業株式会社 横浜支店

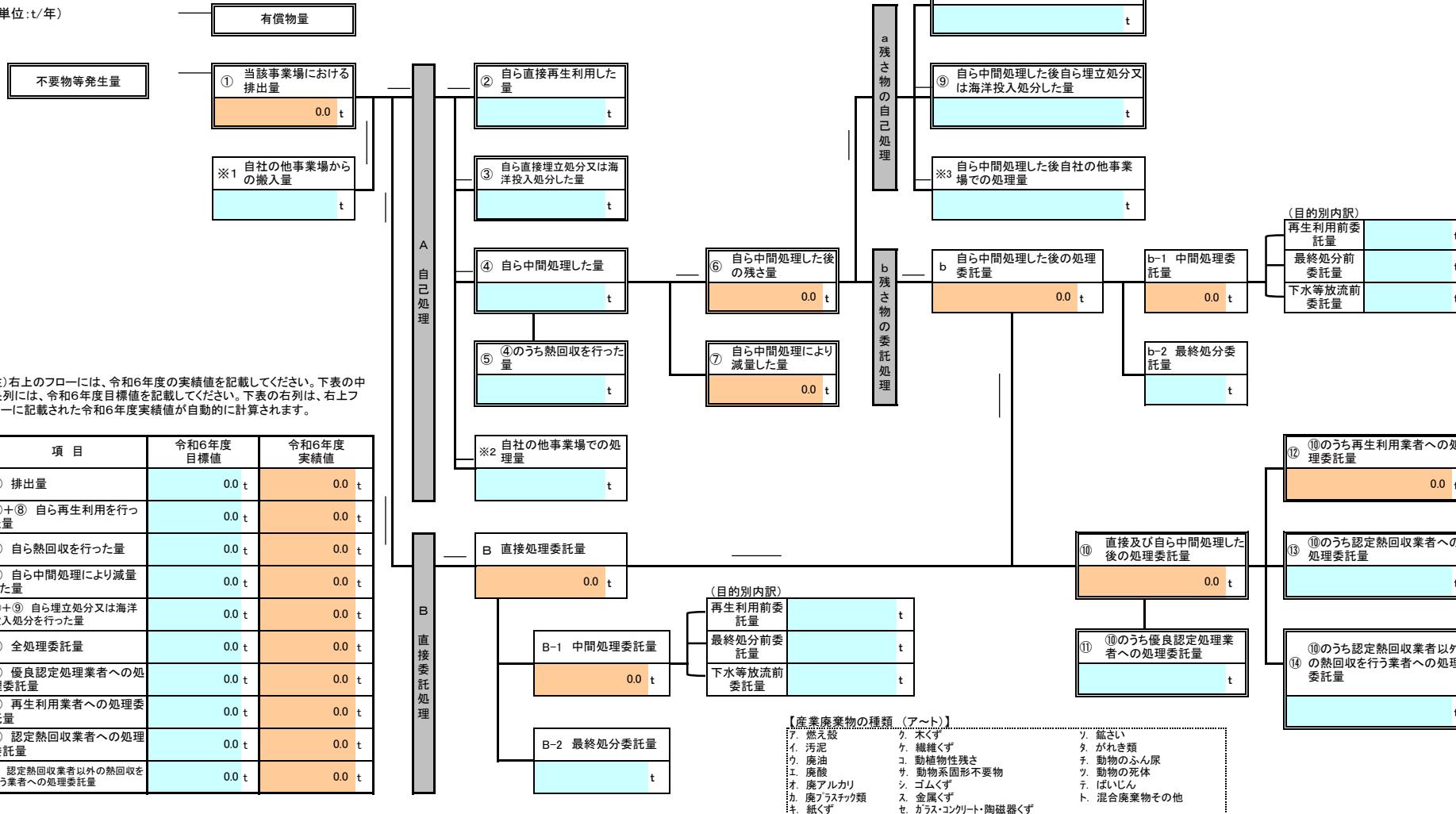
別紙処理フロー

令和6年度に発生した産業廃棄物ごとの量と処理計画の実施結果

フローに記載した産業廃棄物の種類	オ. 廃アルカリ
------------------	----------

※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位:t/年)



(第2面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

↓ 注意:本年度の目標量のみでフローの実績データがない場合にも、本年度目標データを該当欄に入力してください

3-2	法定	自主
-----	----	----

事業場名称 : 東亜建設工業株式会社 横浜支店

別紙処理フロー

令和6年度に発生した産業廃棄物ごとの量と処理計画の実施結果

フローに記載した産業廃棄物の種類	カ. 廃プラスチック類
------------------	-------------

※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位:t/年)

有機物量

不要物等発生量

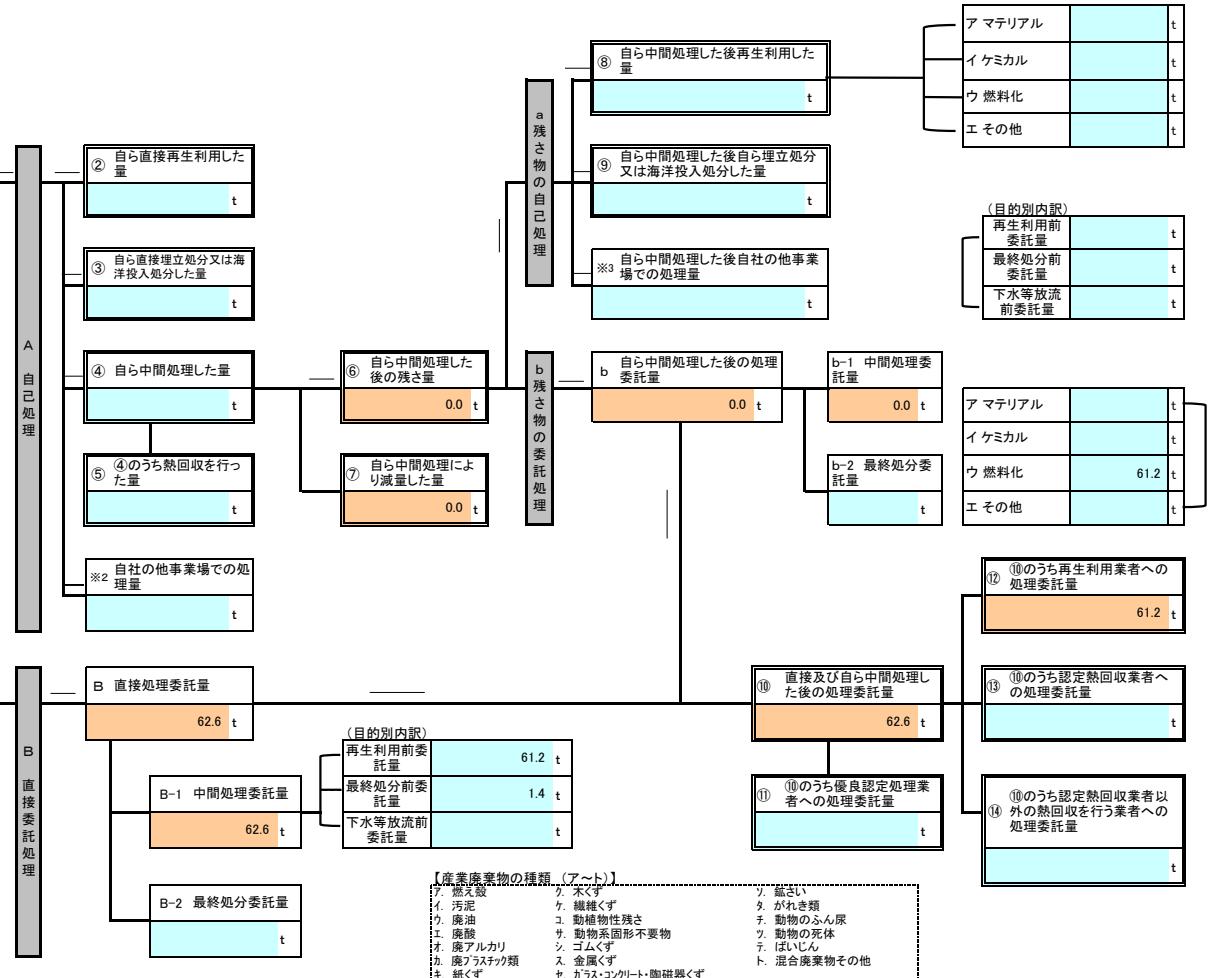
※1 自社の他事業場からの搬入量

注)右上のフローには、令和6年度の実績値を記載してください。下表の中央列には、令和6年度目標値を記載してください。下表の右列は、右上フローに記載された令和6年度実績値が自動的に計算されます。

項目	令和6年度目標値	令和6年度実績値
① 排出量	53.9 t	62.6 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.0 t	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t	0.0 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t	0.0 t
⑩ 全処理委託量	53.9 t	62.6 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	53.0 t	61.2 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t

参考

排出量等のうち有効利用の割合	97.8 %
(内訳)サーマルリカバリーの割合	97.8 %



【産業廃棄物の種類(ア~ト)】	
1. 燃え殻	9. 木くず
2. 汚泥	10. 繊維くず
3. 廃油	11. 動植物性残さ
4. 廃酸	12. 動物系固形不要物
5. 廃アルカリ	13. シゴムくず
6. 廃プラスチック類	14. 金属くず
7. 紙くず	15. 混合廃棄物その他
8. がれき類	16. 動物のふん尿
9. 動物の死体	17. ばいじん
10. 陶磁器くず	18. ガラス・コンクリート・陶磁器くず

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

3-2	法定	自主
○		

別紙処理フロー

令和6年度に発生した産業廃棄物ごとの量と処理計画の実施結果

フローに記載した産業廃棄物の種類	キ. 紙くず
※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。	

(単位:t/年)

有償物量

不要物等発生量

① 当該事業場における排出量

5.4 t

※1 自社の他事業場からの搬入量

t

「紙くず」には業種指定があり、該当業種以外では一般廃棄物となり、報告対象外です。
【該当業種】ハリス、紙又は紙加工品の製造業、新聞業(新聞巻取紙を使用して印刷発行を行うもの)、出版業(印刷出版を行うもの)、製本業、印刷物加工業、建設業(工作物の新築、改築、除去に伴って生じたもの)

② 自ら直接再生利用した量

t

③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

t

④ 自ら中間処理した量

t

⑤ ④のうち熱回収を行った量

t

※2 自社の他事業場での処理量

t

B 直接処理委託量

5.4 t

B-1 中間処理委託量

5.4 t

下水等放流前委託量

t

B-2 最終処分委託量

t

事業場名称 : 東亜建設工業株式会社 横浜支店

⑧ 自ら中間処理した後再生利用した量

t

⑨ 自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

t

※3 自ら中間処理した後自社の他事業場での処理量

t

b 残さ物の委託処理

⑥ 自ら中間処理した後の残さ量

0.0 t

t

⑦ 自ら中間処理により減量した量

0.0 t

b-1 中間処理委託量

0.0 t

⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

5.4 t

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

t

【産業廃棄物の種類(アヘト)】

ア. 燃え殻
イ. 汚泥
ロ. 廃油
ニ. 废酸
オ. 废アルカリ
カ. 废プラスチック類
キ. 紙くず

リ. 錫さい
タ. かれき類
チ. 動植物性残さ
サ. 動物系固形不要物
シ. コムくず
ス. 金属くず
ト. 混合廃棄物その他

(目的別内訳)	再生利用前委託量	t
最終処分前委託量		t
下水等放流前委託量		t

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量	5.4 t
⑬ ⑩のうち認定熱回収業者への処理委託量	t

⑭ ⑩のうち認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t
---------------------------------	---

(第2面)

注)右上のフローには、令和6年度の実績値を記載してください。下表の中央列には、令和6年度目標値を記載してください。下表の右列は、右上フローに記載された令和6年度実績値が自動的に計算されます。

項目	令和6年度目標値	令和6年度実績値
① 排出量	2.2 t	5.4 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.0 t	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t	0.0 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t	0.0 t
⑩ 全処理委託量	2.2 t	5.4 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	2.2 t	5.4 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

別紙処理フロー

令和6年度に発生した産業廃棄物ごとの量と処理計画の実施結果

フローに記載した産業廃棄物の種類	ク.木くず
※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローに別シートに記載してください。	

(单位:t/年)

有偿物量

不要物等発生量

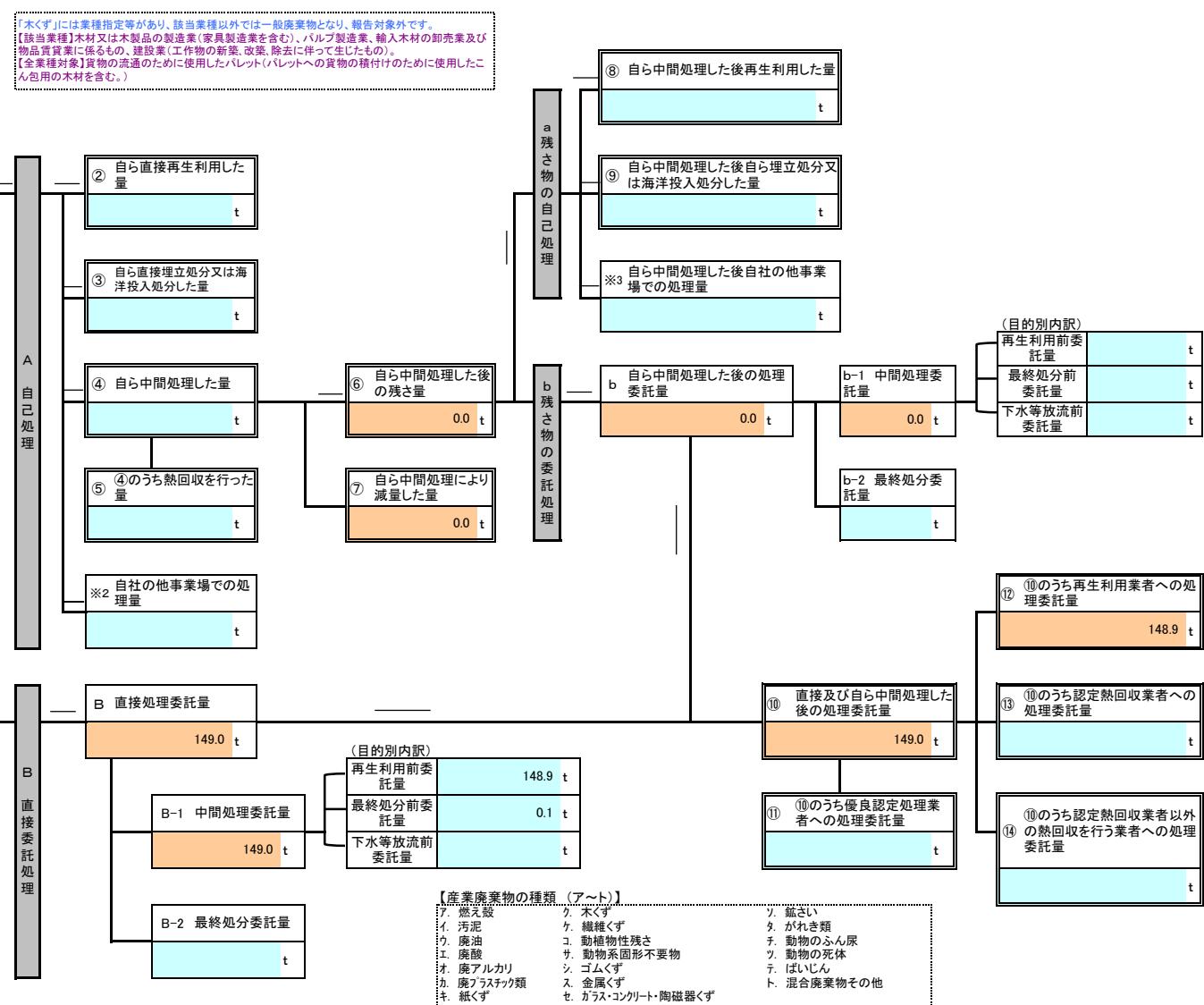
① 当該事業場における
掛出品

149.0 t

※1 自社の他事業場からの搬入量

注)右上のフローには、令和6年度の実績値を記載してください。下表の中央列には、令和6年度目標値を記載してください。下表の右列は、右上フローに記載された令和6年度実績値が自動的に計算されます。

項目	令和6年度 目標値	令和6年度 実績値
① 排出量	46.2 t	149.0 t
②+⑧ 自ら再生利用を行つた量	0.0 t	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行つた量	0.0 t	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t	0.0 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行つた量	0.0 t	0.0 t
⑩ 全処理委託量	46.2 t	149.0 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	46.1 t	148.9 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行つ業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t



産業廃棄物処理計画実施状況報告書

3-2	法定	自主
○		

別紙処理フロー

令和6年度に発生した産業廃棄物ごとの量と処理計画の実施結果

フローに記載した産業廃棄物の種類	ケ. 繊維くず
※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。	

(単位:t/年)

有償物量

不要物等発生量

① 当該事業場における排出量
0.0 t

※1 自社の他事業場からの搬入量
t

「繊維くず」には業種指定があり、該当業種以外では一般廃棄物となり、報告対象外です。
【該当業種】繊維工業(衣服その他の繊維製品製造業を除く)、建設業(工作物の新築、改築、除去に伴って生じたもの)

② 自ら直接再生利用した量
t

③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量
t

④ 自ら中間処理した量
t

⑤ ④のうち熱回収を行った量
t

※2 自社の他事業場での処理量
t

B 直接処理委託量
0.0 t

事業場名称 : 東亜建設工業株式会社 横浜支店

⑥ 自ら中間処理した後再生利用した量
t

⑨ 自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
t

※3 自ら中間処理した後自社の他事業場での処理量
t

b 残さ物の委託処理
0.0 t

b-1 中間処理委託量
0.0 t

b-2 最終処分委託量
t

(目的別内訳)
再生利用前委託量
最終処分前委託量
下水等放流前委託量
t
t
t

⑩のうち再生利用業者への処理委託量
0.0 t

⑪のうち認定熱回収業者への処理委託量
t

⑫のうち優良認定処理業者への処理委託量
t

⑬のうち認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
t

注)右上のフローには、令和6年度の実績値を記載してください。下表の中央列には、令和6年度目標値を記載してください。下表の右列は、右上フローに記載された令和6年度実績値が自動的に計算されます。

項目	令和6年度目標値	令和6年度実績値
① 排出量	0.0 t	0.0 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.0 t	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t	0.0 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t	0.0 t
⑩ 全処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t

【産業廃棄物の種類（ア～ト）】	
ア. 燃え殻	イ. 木くず
イ. 汚泥	ケ. 繊維くず
ウ. 废油	コ. 動植物性残さ
エ. 废酸	サ. 動物系固形不要物
オ. 废アルカリ	シ. コムくず
カ. 废プラスチック類	ス. 金属くず
キ. 紙くず	セ. ガラス・コンクリート・陶磁器くず

(第2面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

3-2	法定	自主
○		

事業場名称 : 東亜建設工業株式会社 横浜支店

別紙処理フロー

令和6年度に発生した産業廃棄物ごとの量と処理計画の実施結果

フローに記載した産業廃棄物の種類	コ. 動植物性残さ
※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。	

(単位:t/年)

有償物量

不要物等発生量

① 当該事業場における排出量
0.0 t

※1 自社の他事業場からの搬入量
t

「動植物性残さ」には業種指定があり、該当業種以外では一般廃棄物となり、報告対象外です。

【該当業種】食料品製造業、医薬品製造業、香料製造業において原料として使用した動物又は植物の固形状の不要物

② 自ら直接再生利用した量
t

③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量
t

④ 自ら中間処理した量
t

⑤ ④のうち熱回収を行った量
t

自社の他事業場での処理量
t

B 直接処理委託量
0.0 t

⑥ 自ら中間処理した後の残さ量
0.0 t

⑦ 自ら中間処理により減量した量
0.0 t

直接及び自ら中間処理した後の処理委託量
0.0 t

B-1 中間処理委託量
0.0 t

(目的別内訳)
再生利用前委託量
最終処分前委託量
下水等放流前委託量

【産業廃棄物の種類（ア～ト）】

- ア. 燃え殻
- イ. 汚泥
- ウ. 廃油
- エ. 废酸
- オ. 废アルカリ
- カ. 废プラスチック類
- キ. 紙くず
- ケ. 木くず
- ケ. 繊維くず
- コ. 動植物性残さ
- サ. 動物系固形不要物
- シ. ゴムくず
- ス. 金属くず
- セ. カラス・コンクリート・陶磁器くず
- ト. 混合廃棄物その他

⑧ 自ら中間処理した後再生利用した量
t

⑨ 自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
t

※3 自ら中間処理した後自社の他事業場での処理量
t

b 残さ物の委託処理
b-1 中間処理委託量
0.0 t

b-2 最終処分委託量
t

⑩ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量
0.0 t

⑪ ⑩のうち認定熱回収業者への処理委託量
t

⑫ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量
t

⑬ ⑩のうち認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
t

⑭ ⑭のうち認定熱回収業者への処理委託量
t

注)右上のフローには、令和6年度の実績値を記載してください。下表の中央列には、令和6年度目標値を記載してください。下表の右列は、右上フローに記載された令和6年度実績値が自動的に計算されます。

項目	令和6年度目標値	令和6年度実績値
① 排出量	0.0 t	0.0 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.0 t	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t	0.0 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t	0.0 t
⑩ 全処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t

(第2面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

3-2	法定	自主
○		

事業場名称 : 東亜建設工業株式会社 横浜支店

別紙処理フロー

令和6年度に発生した産業廃棄物ごとの量と処理計画の実施結果

フローに記載した産業廃棄物の種類	サ. 動物系固形不要物
※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。	

(単位:t/年)

有償物量

不要物等発生量

① 当該事業場における排出量
0.0 t

※1 自社の他事業場からの搬入量
t

「動物系固形不要物」には業種指定があり、該当業種以外では一般廃棄物となり、報告対象外です。
【該当業種】と畜場においてときどき、又は解体した獣畜及び食鳥処理場において食鳥処理をした食鳥に係る固形状の不要物

② 自ら直接再生利用した量
t

③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量
t

④ 自ら中間処理した量
t

⑤ ④のうち熱回収を行った量
t

※2 自社の他事業場での処理量
t

B 直接処理委託量
0.0 t

⑥ 自ら中間処理した後の残さ量
0.0 t

⑦ 自ら中間処理により減量した量
0.0 t

自ら中間処理した後、自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
t

直接及び自ら中間処理した後の処理委託量
0.0 t

【産業廃棄物の種類（ア～ト）】

- ア. 燃え殻
- イ. 汚泥
- ウ. 廃油
- エ. 废酸
- オ. 废アルカリ
- カ. 废プラスチック類
- キ. 紙くず
- ケ. 木くず
- ケ. 繊維くず
- コ. 動植物性残さ
- サ. 動物系固形不要物
- シ. ゴムくず
- ス. 金属くず
- セ. カラス・コンクリート・陶磁器くず
- ト. 混合廃棄物その他

(目的別内訳)

再生利用前委託量
t

最終処分前委託量
t

下水等放流前委託量
t

a 残さ物の自己処理
t

⑧ 自ら中間処理した後再生利用した量
t

⑨ 自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
t

※3 自ら中間処理した後自社の他事業場での処理量
t

b 残さ物の委託処理
t

b-1 中間処理委託量
0.0 t

b-2 最終処分委託量
t

⑩ のうち再生利用業者への処理委託量
0.0 t

⑪ のうち認定熱回収業者への処理委託量
t

⑫ のうち優良認定処理業者への処理委託量
t

⑬ のうち認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
t

⑭ の熱回収を行う業者への処理委託量
t

(目的別内訳)

再生利用前委託量
t

最終処分前委託量
t

下水等放流前委託量
t

ア. 鉛さい

タ. がれき類

チ. 動物のふん尿

ツ. 動物の死体

テ. ばいじん

ト. 混合廃棄物その他

シ. ゴムくず

ス. 金属くず

セ. カラス・コンクリート・陶磁器くず

ト. 混合廃棄物その他

キ. 紙くず

ケ. 木くず

ケ. 繊維くず

コ. 動植物性残さ

サ. 動物系固形不要物

シ. ゴムくず

ス. 金属くず

セ. カラス・コンクリート・陶磁器くず

ト. 混合廃棄物その他

ア. 鉛さい

タ. がれき類

チ. 動物のふん尿

ツ. 動物の死体

テ. ばいじん

ト. 混合廃棄物その他

シ. ゴムくず

ス. 金属くず

セ. カラス・コンクリート・陶磁器くず

ト. 混合廃棄物その他

キ. 紙くず

ケ. 木くず

ケ. 繊維くず

コ. 動植物性残さ

サ. 動物系固形不要物

シ. ゴムくず

ス. 金属くず

セ. カラス・コンクリート・陶磁器くず

ト. 混合廃棄物その他

ア. 鉛さい

タ. がれき類

チ. 動物のふん尿

ツ. 動物の死体

テ. ばいじん

ト. 混合廃棄物その他

シ. ゴムくず

ス. 金属くず

セ. カラス・コンクリート・陶磁器くず

ト. 混合廃棄物その他

キ. 紙くず

ケ. 木くず

ケ. 繊維くず

コ. 動植物性残さ

サ. 動物系固形不要物

シ. ゴムくず

ス. 金属くず

セ. カラス・コンクリート・陶磁器くず

ト. 混合廃棄物その他

ア. 鉛さい

タ. がれき類

チ. 動物のふん尿

ツ. 動物の死体

テ. ばいじん

ト. 混合廃棄物その他

シ. ゴムくず

ス. 金属くず

セ. カラス・コンクリート・陶磁器くず

ト. 混合廃棄物その他

キ. 紙くず

ケ. 木くず

ケ. 繊維くず

コ. 動植物性残さ

サ. 動物系固形不要物

シ. ゴムくず

ス. 金属くず

セ. カラス・コンクリート・陶磁器くず

ト. 混合廃棄物その他

ア. 鉛さい

タ. がれき類

チ. 動物のふん尿

ツ. 動物の死体

テ. ばいじん

ト. 混合廃棄物その他

シ. ゴムくず

ス. 金属くず

セ. カラス・コンクリート・陶磁器くず

ト. 混合廃棄物その他

キ. 紙くず

ケ. 木くず

ケ. 繊維くず

コ. 動植物性残さ

サ. 動物系固形不要物

シ. ゴムくず

ス. 金属くず

セ. カラス・コンクリート・陶磁器くず

ト. 混合廃棄物その他

ア. 鉛さい

タ. がれき類

チ. 動物のふん尿

ツ. 動物の死体

テ. ばいじん

ト. 混合廃棄物その他

シ. ゴムくズ

ス. 金属くズ

セ. カラス・コンクリート・陶磁器くズ

ト. 混合廃棄物その他

キ. 紙くズ

ケ. 木くズ

ケ. 繊維くズ

コ. 動植物性残さ

サ. 動物系固形不要物

シ. ゴムくズ

ス. 金属くズ

セ. カラス・コンクリート・陶磁器くズ

ト. 混合廃棄物その他

ア. 鉛さい

タ. がれき類

チ. 動物のふん尿

ツ. 動物の死体

テ. ばいじん

ト. 混合廃棄物その他

シ. ゴムくズ

ス. 金属くズ

セ. カラス・コンクリート・陶磁器くズ

ト. 混合廃棄物その他

キ. 紙くズ

ケ. 木くズ

ケ. 繊維くズ

コ. 動植物性残さ

サ. 動物系固形不要物

シ. ゴムくズ

ス. 金属くズ

セ. カラス・コンクリート・陶磁器くズ

ト. 混合廃棄物その他

ア. 鉛さい

タ. がれき類

チ. 動物のふん尿

ツ. 動物の死体

テ. ばいじん

ト. 混合廃棄物その他

シ. ゴムくズ

ス. 金属くズ

セ. カラス・コンクリート・陶磁器くズ

ト. 混合廃棄物その他

キ. 紙くズ

ケ. 木くズ

ケ. 繊維くズ

コ. 動植物性残さ

サ. 動物系固形不要物

シ. ゴムくズ

ス. 金属くズ

セ. カラス・コンクリート・陶磁器くズ

ト. 混合廃棄物その他

ア. 鉛さい

タ. がれき類

チ. 動物のふん尿

ツ. 動物の死体

テ. ばいじん

ト. 混合廃棄物その他

シ. ゴムくズ

ス. 金属くズ

セ. カラス・コンクリート・陶磁器くズ

ト. 混合廃棄物その他

キ. 紙くズ

ケ. 木くズ

ケ. 繊維くズ

コ. 動植物性残さ

サ. 動物系固形不要物

シ. ゴムくズ

ス. 金属くズ

セ. カラス・コンクリート・陶磁器くズ

ト. 混合廃棄物その他

ア. 鉛さい

タ. がれき類

チ. 動物のふん尿

ツ. 動物の死体

テ. ばいじん

ト. 混合廃棄物その他

シ. ゴムくズ

ス. 金属くズ

セ. カラス・コンクリート・陶磁器くズ

ト. 混合廃棄物その他

キ. 紙くズ

ケ. 木くズ

ケ. 繊維くズ

コ. 動植物性残さ

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

3-2	法定	自主
○		

事業場名称 : 東亜建設工業株式会社 横浜支店

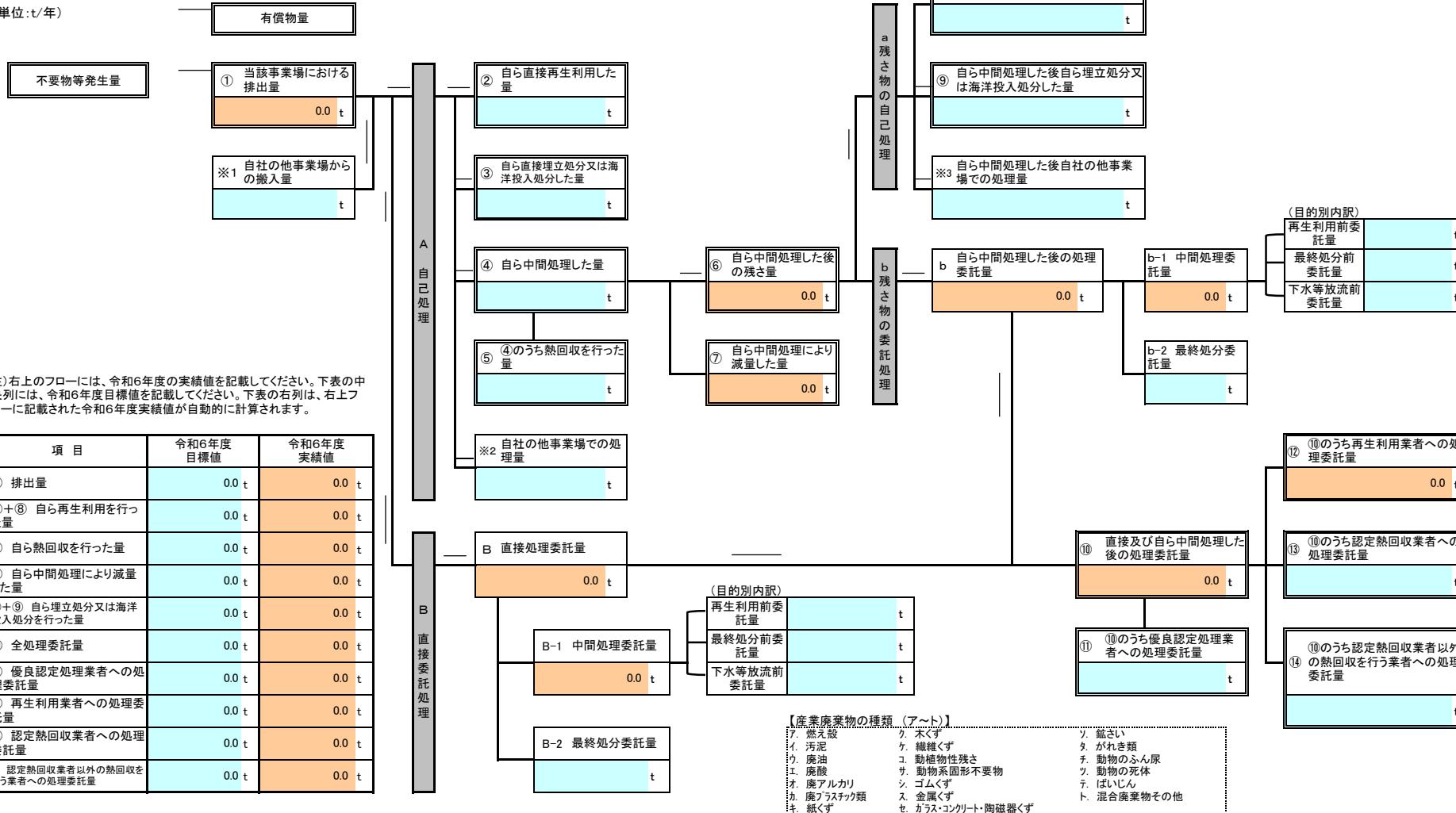
別紙処理フロー

令和6年度に発生した産業廃棄物ごとの量と処理計画の実施結果

フローに記載した産業廃棄物の種類	シ. ゴムくず
------------------	---------

※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位:t/年)



(第2面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

3-2	法定	自主
○		

事業場名称 : 東亜建設工業株式会社 横浜支店

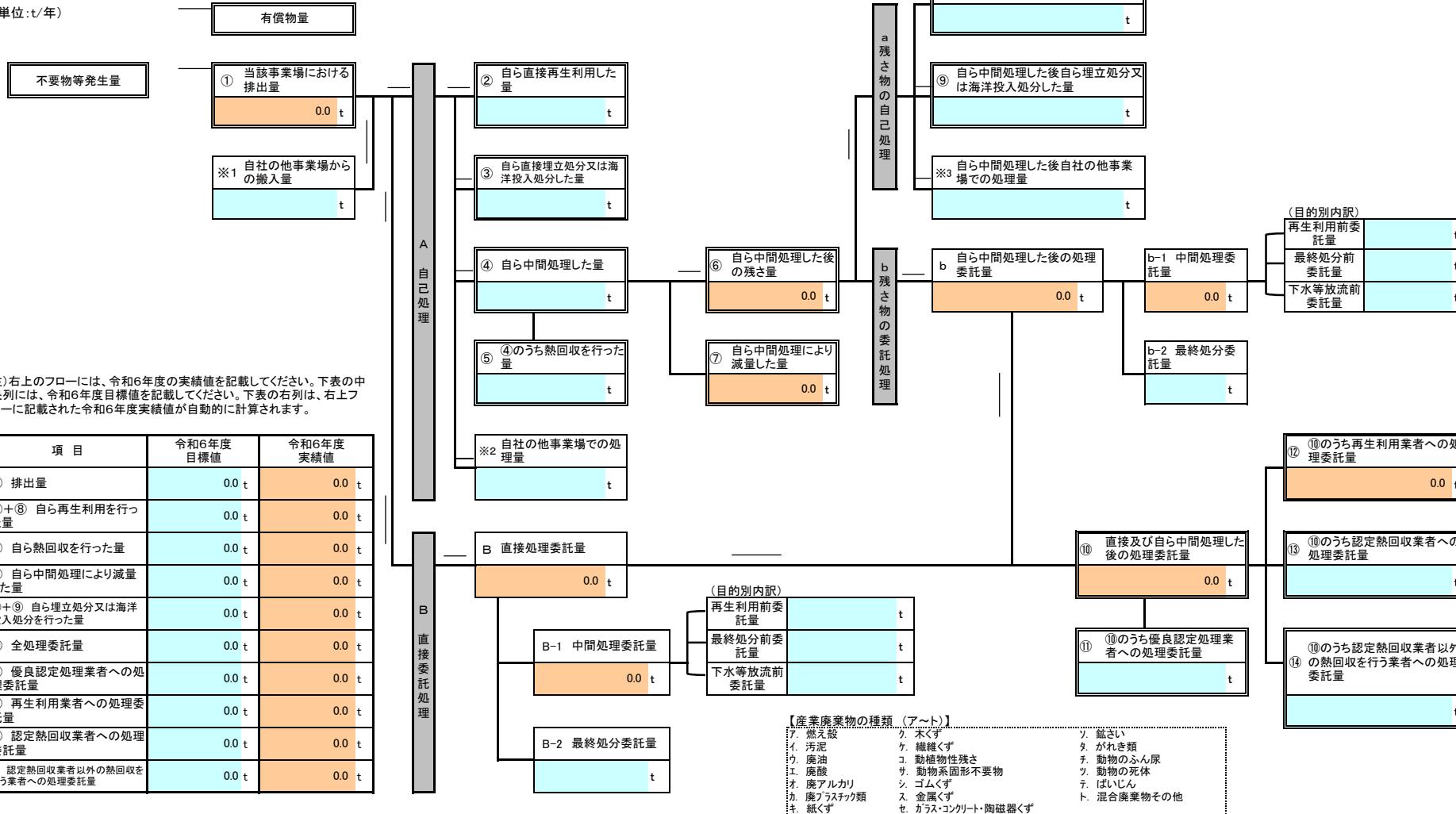
別紙処理フロー

令和6年度に発生した産業廃棄物ごとの量と処理計画の実施結果

フローに記載した産業廃棄物の種類	ス、金属くず
------------------	--------

※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位:t/年)



(第2面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

3-2	法定	自主
○		

事業場名称 : 東亜建設工業株式会社 横浜支店

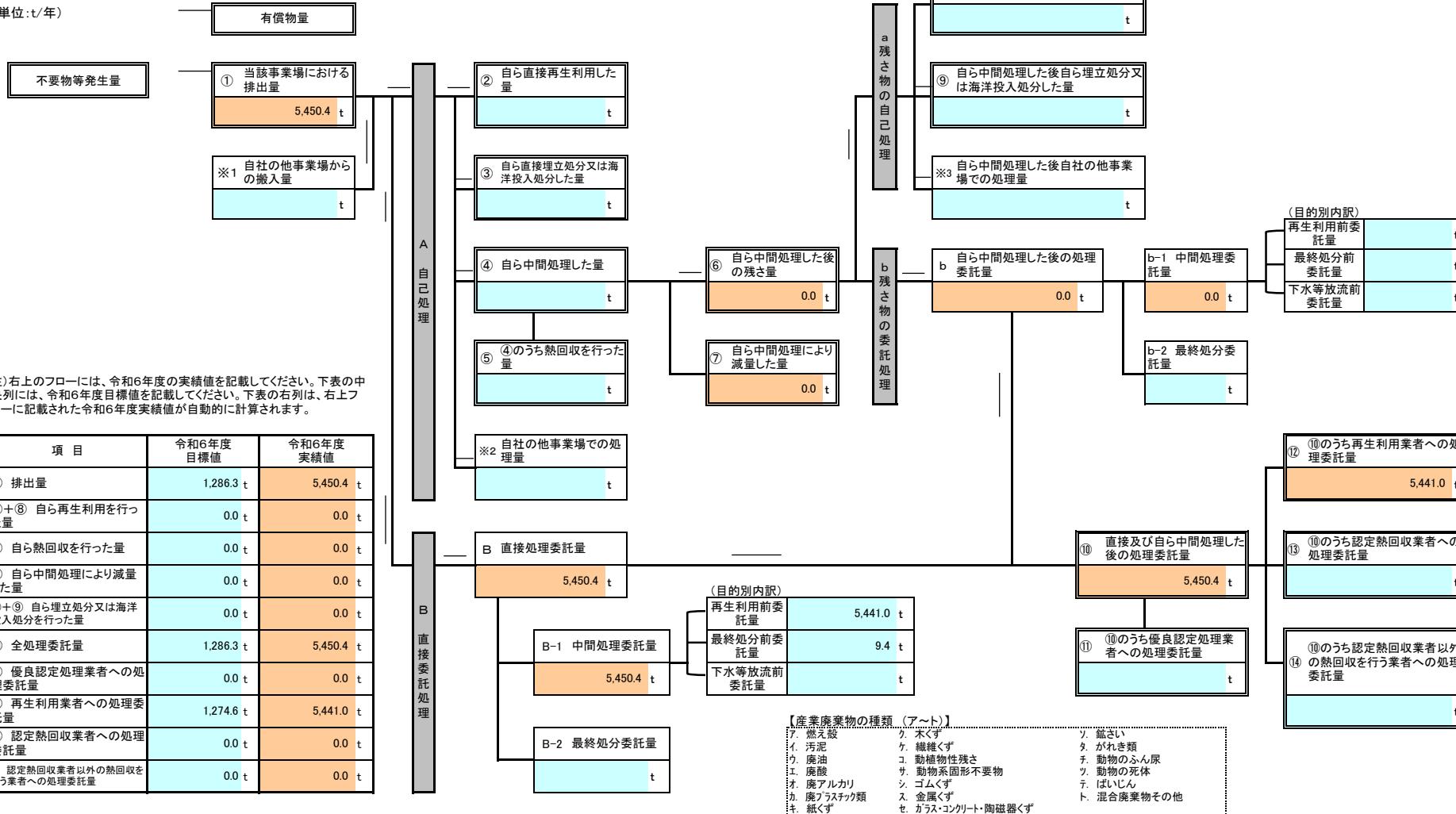
別紙処理フロー

令和6年度に発生した産業廃棄物ごとの量と処理計画の実施結果

フローに記載した産業廃棄物の種類	タ. がれき類
------------------	---------

※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位:t/年)



(第2面)

注)右上のフローには、令和6年度の実績値を記載してください。下表の中央列には、令和6年度目標値を記載してください。下表の右列は、右上フローに記載された令和6年度実績値が自動的に計算されます。

項目	令和6年度目標値	令和6年度実績値
① 排出量	1,286.3 t	5,450.4 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.0 t	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t	0.0 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t	0.0 t
⑩ 全処理委託量	1,286.3 t	5,450.4 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	1,274.6 t	5,441.0 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

3-2	法定	自主
○		

事業場名称 : 東亜建設工業株式会社 横浜支店

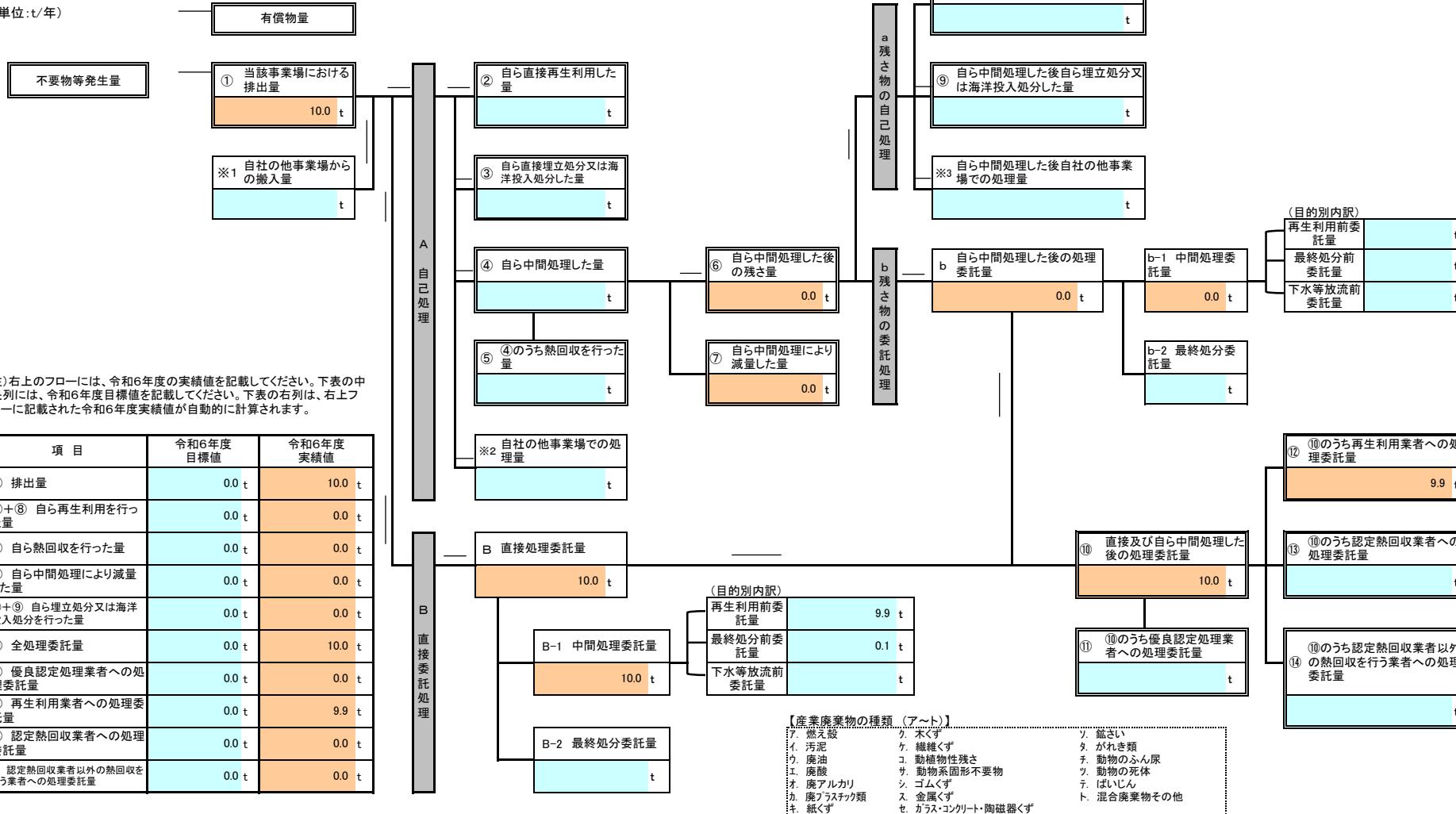
別紙処理フロー

令和6年度に発生した産業廃棄物ごとの量と処理計画の実施結果

フローに記載した産業廃棄物の種類	セ. ガラス・コンクリート・陶磁器くず
------------------	---------------------

※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位:t/年)



産業廃棄物処理計画実施状況報告書

3-2	法定	自主
○		

事業場名称 : 東亜建設工業株式会社 横浜支店

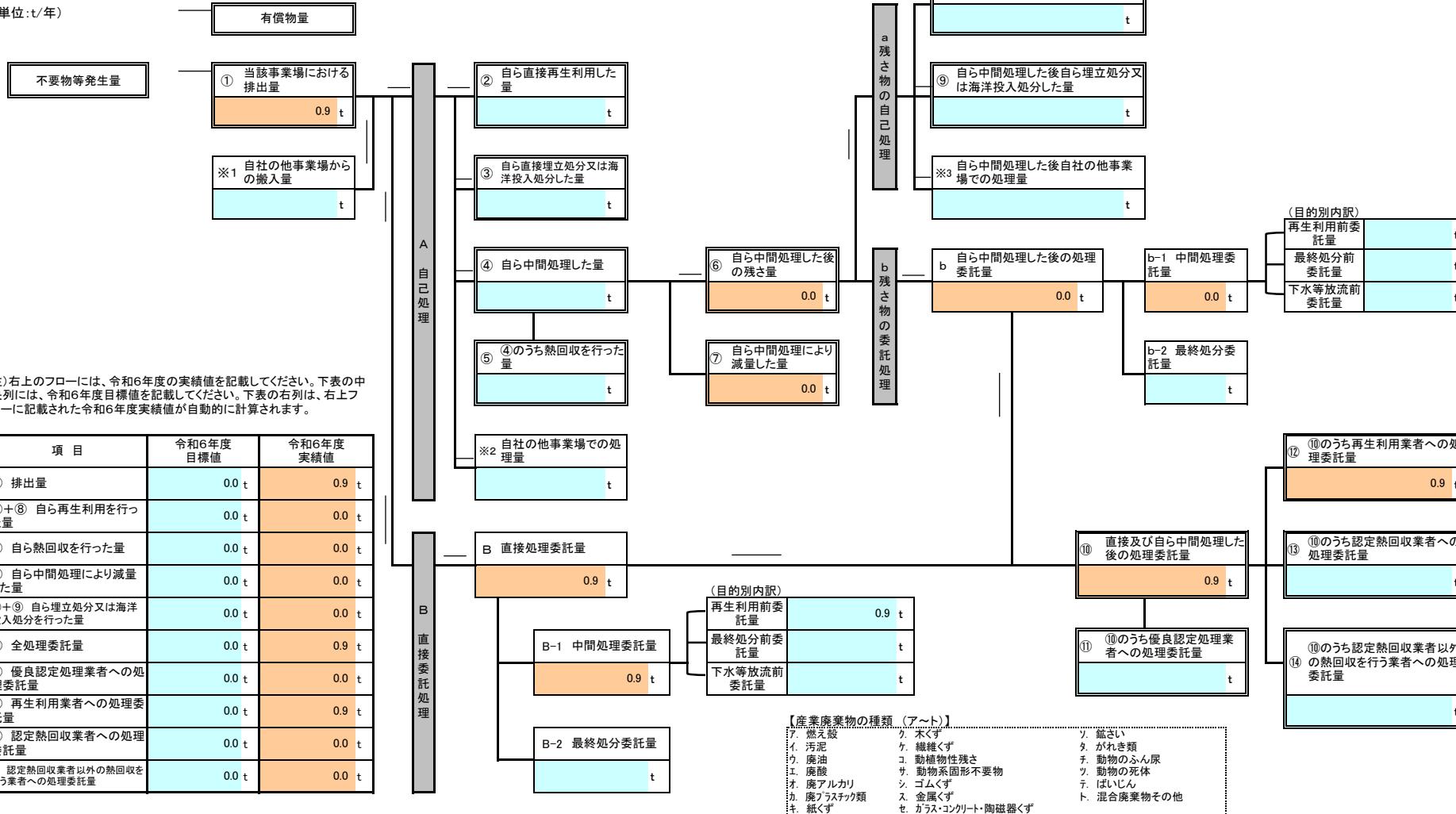
別紙処理フロー

令和6年度に発生した産業廃棄物ごとの量と処理計画の実施結果

フローに記載した産業廃棄物の種類	ソ. 鉛さい
------------------	--------

※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位:t/年)



(第2面)

注)右上のフローには、令和6年度の実績値を記載してください。下表の中央列には、令和6年度目標値を記載してください。下表の右列は、右上フローに記載された令和6年度実績値が自動的に計算されます。

項目	令和6年度目標値	令和6年度実績値
① 排出量	0.0 t	0.9 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.0 t	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t	0.0 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t	0.0 t
⑩ 全処理委託量	0.0 t	0.9 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	0.0 t	0.9 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

3-2	法定	自主
○		

事業場名称 : 東亜建設工業株式会社 横浜支店

別紙処理フロー

令和6年度に発生した産業廃棄物ごとの量と処理計画の実施結果

フローに記載した産業廃棄物の種類	チ. 動物のふん尿
※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。	

(単位:t/年)

有償物量

不要物等発生量

① 当該事業場における排出量
0.0 t

※1 自社の他事業場からの搬入量
t

「動物のふん尿」には業種指定があり、該当業種以外では一般廃棄物となり、報告対象外です。
【該当業種】畜産農業

② 自ら直接再生利用した量
t

③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量
t

④ 自ら中間処理した量
t

⑤ ④のうち熱回収を行った量
t

※2 自社の他事業場での処理量
t

B 直接処理委託量
0.0 t

⑥ 自ら中間処理した後の残さ量
0.0 t

⑦ 自ら中間処理により減量した量
0.0 t

⑧ 自ら中間処理した後再生利用した量
t

⑨ 自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
t

※3 自ら中間処理した後自社の他事業場での処理量
t

b 残さ物の委託処理
0.0 t

b-1 中間処理委託量
0.0 t

b-2 最終処分委託量
t

⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量
0.0 t

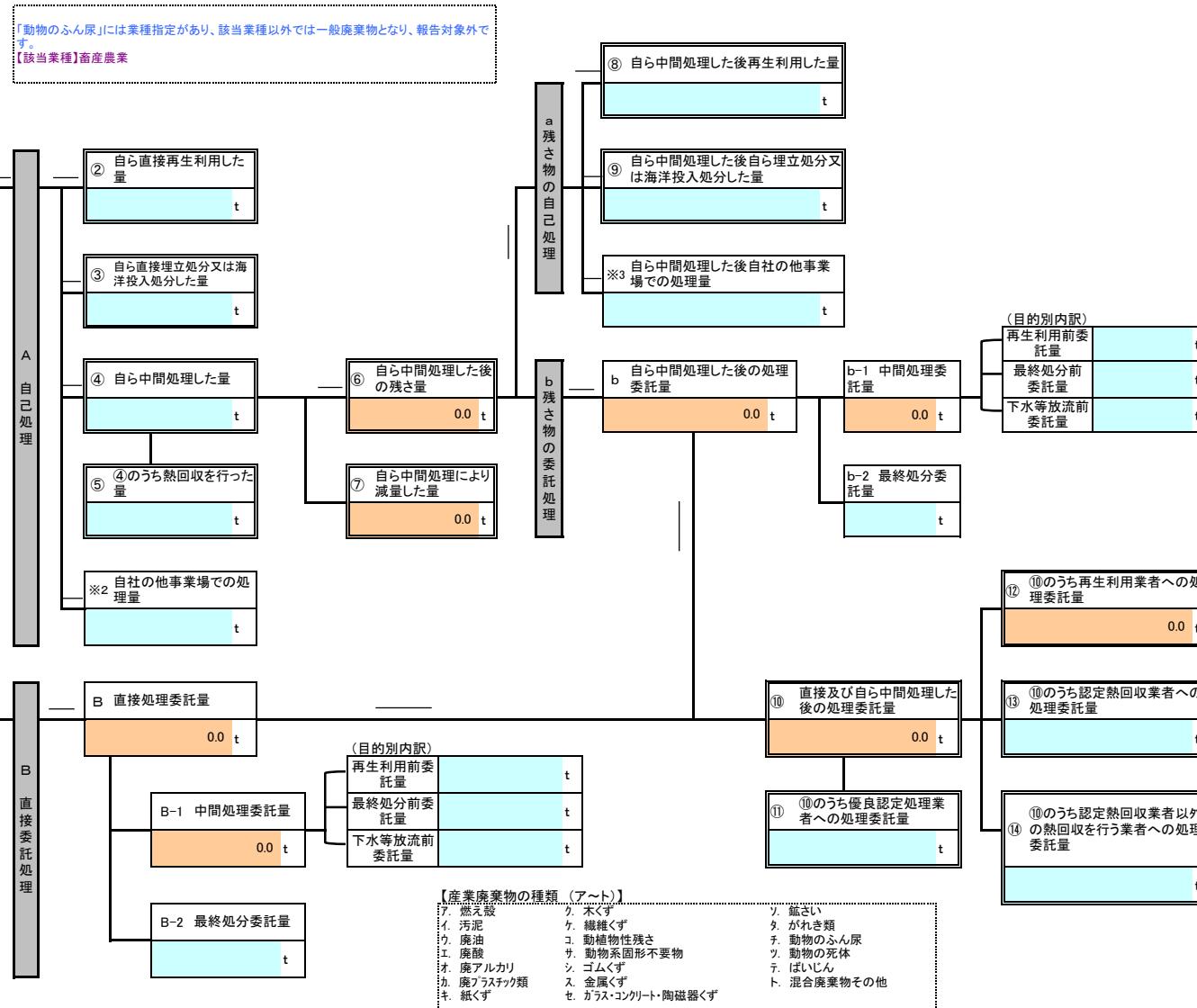
B-1 中間処理委託量
0.0 t

B-2 最終処分委託量
t

3-2	法定	自主
○		

注)右上のフローには、令和6年度の実績値を記載してください。下表の中央列には、令和6年度目標値を記載してください。下表の右列は、右上フローに記載された令和6年度実績値が自動的に計算されます。

項目	令和6年度目標値	令和6年度実績値
① 排出量	0.0 t	0.0 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.0 t	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t	0.0 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t	0.0 t
⑩ 全処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t



(第2面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

3-2	法定	自主
○		

事業場名称 : 東亜建設工業株式会社 横浜支店

別紙処理フロー

令和6年度に発生した産業廃棄物ごとの量と処理計画の実施結果

フローに記載した産業廃棄物の種類	ワ. 動物の死体
※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。	

(単位:t/年)

有償物量

不要物等発生量

① 当該事業場における排出量
0.0 t

※1 自社の他事業場からの搬入量
t

「動物の死体」には業種指定があり、該当業種以外では一般廃棄物となり、報告対象外です。
【該当業種】畜産農業

自ら直接再生利用した量
t

自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量
t

自ら中間処理した量
t

自ら中間処理により減量した量
0.0 t

⑤ のうち熱回収を行った量
t

自社の他事業場での処理量
t

B 直接処理委託量
0.0 t

B-1 中間処理委託量
0.0 t

(目的別内訳)
再生利用前委託量
最終処分前委託量
下水等放流前委託量

B-2 最終処分委託量
t

⑧ 自ら中間処理した後再生利用した量
t

自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
t

自ら中間処理した後自社の他事業場での処理量
t

自ら中間処理した後の処理委託量
0.0 t

b-1 中間処理委託量
0.0 t

b-2 最終処分委託量
t

(目的別内訳)	
再生利用前委託量	t
最終処分前委託量	t
下水等放流前委託量	t

⑫ のうち再生利用業者への処理委託量
0.0 t

⑬ のうち認定熱回収業者への処理委託量
t

⑭ のうち認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
t

直接及び自ら中間処理した後の処理委託量
0.0 t

⑪ のうち優良認定処理業者への処理委託量
t

⑩ のうち再生利用業者への処理委託量
t

⑩ のうち認定熱回収業者への処理委託量
t

⑩ のうち認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
t

直接及び自ら中間処理した後の処理委託量
0.0 t

⑪ のうち優良認定処理業者への処理委託量
t

⑩ のうち再生利用業者への処理委託量
t

⑩ のうち認定熱回収業者への処理委託量
t

⑩ のうち認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
t

注)右上のフローには、令和6年度の実績値を記載してください。下表の中央列には、令和6年度目標値を記載してください。下表の右列は、右上フローに記載された令和6年度実績値が自動的に計算されます。

項目	令和6年度目標値	令和6年度実績値
① 排出量	0.0 t	0.0 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.0 t	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t	0.0 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t	0.0 t
⑩ 全処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t

(第2面)

【産業廃棄物の種類(ア~ト)】	
ア. 燃え木	イ. 木くず
イ. 汚泥	ケ. 繊維くず
ウ. 废油	コ. 動植物性残さ
エ. 废酸	サ. 動物系固形不要物
オ. 废アルカリ	シ. コムくず
カ. 废プラスチック類	ス. 金属くず
キ. 紙くず	セ. カラス・コンクリート・陶磁器くず

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

3-2	法定	自主
○		

事業場名称 : 東亜建設工業株式会社 横浜支店

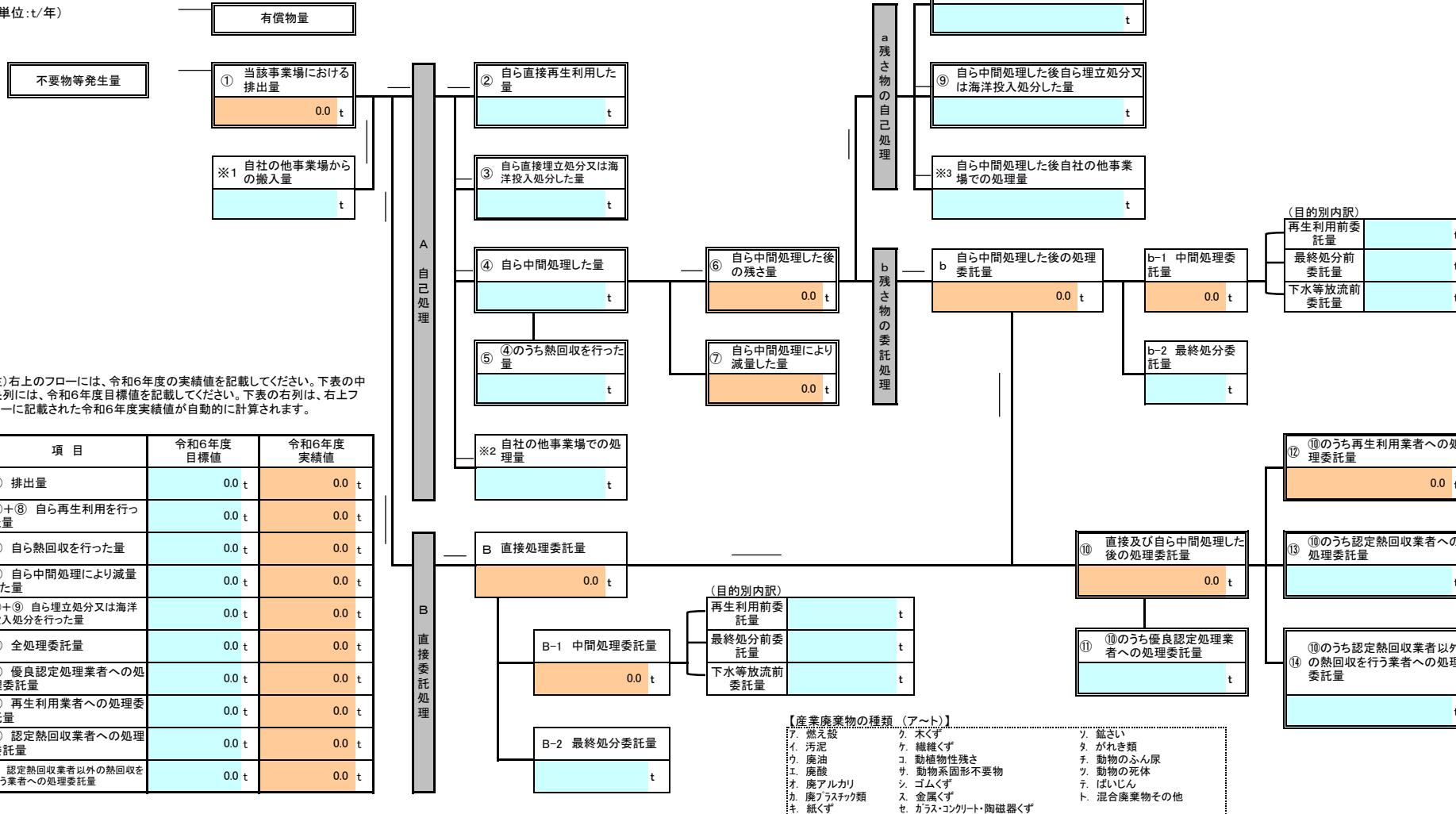
別紙処理フロー

令和6年度に発生した産業廃棄物ごとの量と処理計画の実施結果

フローに記載した産業廃棄物の種類	テ. ばいじん
------------------	---------

※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位:t/年)



産業廃棄物処理計画実施状況報告書

3-2	法定	自主
○		

事業場名称 : 東亜建設工業株式会社 横浜支店

別紙処理フロー

令和6年度に発生した産業廃棄物ごとの量と処理計画の実施結果

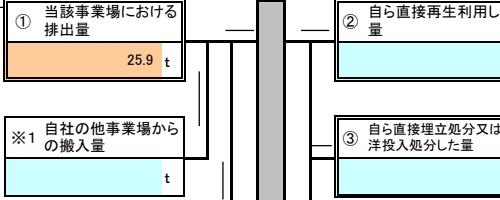
フローに記載した産業廃棄物の種類	ト. 混合廃棄物その他
------------------	-------------

※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位:t/年)

有償物量

不要物等発生量



※1 自社の他事業場からの搬入量
t

① 当該事業場における排出量
25.9 t

② 自ら直接再生利用した量
t

③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量
t

④ 自ら中間処理した量
t

⑤ ④のうち熱回収を行った量
t

⑥ 自ら中間処理した後の残さ量
0.0 t

⑦ 自ら中間処理により減量した量
0.0 t

自社の他事業場での処理量
t

B 直接処理委託量
25.9 t

B-1 中間処理委託量
25.9 t

B-2 最終処分委託量
t

注)右上のフローには、令和6年度の実績値を記載してください。下表の中央列には、令和6年度目標値を記載してください。下表の右列は、右上フローに記載された令和6年度実績値が自動的に計算されます。

項目	令和6年度目標値	令和6年度実績値
① 排出量	46.1 t	25.9 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.0 t	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t	0.0 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t	0.0 t
⑩ 全処理委託量	46.1 t	25.9 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	40.1 t	23.7 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t

